

令和8年(2026年)9月30日

保護者の皆様

札幌市立南白石小学校

校長 佐藤元基

通知表「のびゆく子」のみかた

本校では、通知表を年間2回(9月と2月)発行します。その1回目が9月30日(水)で、全校一斉に各担任から子どもたちに手渡しました。

本校では、「運動会」「ポプラ活動(異学年交流)」「学習発表会」「卒業証書授与式」を行事の中心に据え、1年間を3か月ごとの4節に分けて、それぞれに目あてをもって教育活動を進めています。そして、この4節の大き

な節目である前期終了時と後期終了時に、お子様の学習や生活の「育ち」を『通知表』としてお知らせしているところです。通知表を年に2回発行(評価の2期制)としているのは、学校での子どもの育ちを2期(4節)で考えているからです。また、半年に及ぶ期間で学習の取組の過程を見届けることにより、お子様の育ちをとらえて伝えることができること、時間をかけて一人一人に応じた指導を行えることなども理由です。



本日から始まる個人懇談を活用し、よりきめ細やかにお子様の育ちを保護者の皆様と共有し、今後のお子様への関わり方や課題についてじっくりと話をすることにしています。前期の通知表には担任からの言葉はありませんが、直接、保護者の皆様と話し合い、より充実した指導へとつなげていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

通知表をもとにして、お子様の「この力を生かしたい」「こんな面を伸ばしたい」という期待感と可能性をもって見取り、そこに表される「よさ」をお伝えします。ただし、通知表に記録するのはある一面の姿であって、お子様のすべてを評価しているわけではありません。ですから、個人懇談の話をもとに、御家庭ではお子様のよさや頑張りを認め、更なる努力や成長を願って意欲を高めていくような助言や励ましをしていただけますようお願いいたします。

通知表以外にも子どもたちの育ちを伝える機会として、学年・学級通信、学習参観懇談会、各行事を設定し、子どもたちの学習や生活の育ちについてお伝えしています。特に学習参観懇談会は保護者の皆様と直接お子様のことを話し、具体的な育ちやよさを伝え、更にのばしていくための取組を交流する場です。学校と家庭がコミュニケーションを図り、その連携をとることが、大切であると考えています。

学力のおさえ



子どもに身に付けさせたい学力を、知能や技能だけでなく、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力、よりよく問題を解決する資質や能力など総合的にとらえたものとしておさえています。これまでの「知識・理解＝学力」という考えではなく、学力を広くとらえています。その学力の向上を図っていくために、知識を増やし、技能を獲得させるだけでなく、思考力・判断力・表現力などを身に付けさせることをねらって、体験的な学習（観察・実験調査・研究・発表・討論）や問題解決的な学習を重視し

て取り組んでいます。学習・学力の評価は、知識や技能の到達度だけでなく、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力などの資質や能力などを含めた学習の到達度を基にして行います。それが、「観点別学習状況の評価」です。各教科にはそれぞれ次のように、3つの観点があります。

観点別学習状況の評価

1「知識・技能」

…各教科において身に付けるべき知識や技能

2「思考力・判断力・表現力等」

…各教科において課題を解決するために働かせる思考力や判断力、表現力等

3「主体的に学習に取り組む態度」

…各教科において、課題を解決するために主体的に取り組もうとする態度

3つの観点にはそれぞれに目標があり、その目標にどれくらい到達しているかを評価（絶対評価～指導目標に照らして設定された基準によって行われる評価）してお伝えします。目標に該当する内容は、通知表の「教科のようす」の「評価の観点」に記載しておりますので、御確認くださいようお願いいたします。



到達度

各教科、各観点に目標を設定し、どこまで到達しているのかを3段階でお知らせします。「到達している」場合を『よい』とし、「到達目標を大幅に上回る成果を挙げた」場合は『大変よい』、目標に到達せず「努力を要する」場合は『頑張ろう』になります。（※1年生の前期は、『よい』と『頑張ろう』の2段階での評定です。）

評価方法

各教科、観点毎の評価はテストの点数だけでは決まりません。学力のおさえで記述したように学習の取組の過程も大切なポイントになるわけですから、毎時間の授業などに取り組む姿勢も評価に反映されていきます。各観点でそれぞれ違いはありますが、以下のようなことを総合的にとらえ、評価しております。

- ペーパーテストによる評価
- 実習、実技テストなどによる評価
- 観察（行動・発表）、質問紙などによりとらえたことを基にする評価
- 作品、ノート、レポートなど子どもが作ったものによる評価
- 学習ファイルや学習シートなどによる評価
- 子どもの自己評価、相互評価を参考にする評価



その他の項目

- 「生活のようす」 教育目標を具現化し、本校の子どもとして望ましい学校生活の基本的な行動態度を示し、よさや頑張りが表われたものに○をつけてお知らせします。
- 「特別活動のようす」 所属した学級活動の係、委員会、クラブ活動をお伝えします。
- 「総合的な学習のようす」 3年生から6年生について、総合的な学習の時間を通して表れていたよさや身に付けることができた力を記述しています。（年間を通して後期に記述）
- 「外国語活動のようす」 3・4年生について、外国語活動の学習を通して表れていたよさや身に付けることができた力を記述しています。（年間を通して後期に記述）
※5・6年生は「外国語」という教科の評価になります。（前期も評価あり）
- 「特別の教科 道徳」 特別の教科道徳の学習を通して表れていたよさや身に付けることができた力を記述しています。（年間を通して後期に記述）
- 「学校から」 学習や生活で見られたお子様のよさや頑張り、育ちや可能性などを記述しています。（年間を通して後期に記述）
- 「家庭から」 保護者の皆様からお子様へ、よいところや頑張っているところをお書きください。